

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：有限会社コテラ企画 代表者職名・氏名：代表取締役 小寺良秀
補助事業テーマ	印刷物の表面コーティングによる抗菌加工印刷の開発
事業実施期間	令和2年10月12日～令和3年2月18日
事業の目的	印刷物に表面コーティングを行い、抗菌加工製品とする。
事業の実績(成果)	<p>抗菌についての勉強会を実施し、抗菌と除菌の違いや抗菌や除菌のための薬剤とそれを塗布する素材の相性など基本的なことをはじめ、印刷物に抗菌性を付加するには、印刷のない白紙面にも塗布が必要不可欠になるなどの技術的な部分に至るまで事業担当者を中心に共有した。</p> <p>また、塗料メーカーとのミーティングによって、抗菌主成分を絞り込み、抗菌コーティング剤の発注を11月中旬に行った。</p> <p>しかし、コーティング専用設備について、当初予定していたものが、現在メーカーから新品販売はされていないので、他メーカーの同等品を探し、12月には機種選定を終えて1月初旬に発注し、2月初旬に設置が完了した。</p> <p>同月、抗菌加工印刷のテストを行い、コーティング厚を見極めると共に抗菌性の証明のために、JISの規定値である細菌の増殖割合が100分の1以下（抗菌活性値2以上）を満たしているか、塗料メーカーが行った検査数値のもと、一般社団法人抗菌製品技術協議会へ申し込みを行った結果、無事認定して頂き、当社の抗菌加工印刷物に対しては抗菌性の証明としてSIAAマークを使用できることとなった。</p> <p>また、同時進行で、収益化に向けた事業化プランについて検討を行った。収益化のためには販路が課題となるが、新型コロナウイルス感染の震源地とも揶揄されがちな飲食店や、コロナ対策が必須となっている業種などを中心に、名刺やパンフレット、飲食店のテイクアウト用包装紙の印刷など、人から人へ直接わたる印刷物に応用し、収益化を図ることとする。</p> <p>成果として、抗菌に対する基本的な知識を得て、抗菌加工印刷時における技術的な留意点などを実感することができた。</p>



	<p>さらに、一般社団法人抗菌製品技術協議会の認定を頂き、当社の抗菌加工印刷物に対しては抗菌性の証明として SIAA マークを使用できることとなり、収益化のための販路開拓に信用性が得られ、現在十数件の問い合わせを頂いている状況であり、新規顧客獲得に大いに期待ができる成果が得られたと考える。</p> <p>課題として、完全に抗菌加工するためには、印刷用紙の両面にコーティングを施さなければならないので、片面印刷の印刷物にも両面にコーティングしなければならない。</p> <p>非コーティングの印刷物と比較すると作業時間が大幅に増加するため、元々の印刷物が低コスト仕様の場合、印刷物のコストも大幅に増加する。さらに抗菌コーティング剤の仕入れ原価は非常に高く、しかも印刷物全面に無駄なく塗布しなければならないので、実際のコストは上記以上になると考える。</p> <p>したがって、現状では低コスト仕様の印刷物の場合のニーズは難しいと考えている。</p> <p>また、抗菌コーティング剤は速乾性ではないので、乾燥に一定の時間を要し、短納期案件には不向きである。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>課題も多く残してしまったが、ものづくり産業に属する当社としては、「もの」を感染経路にしないことが、ウイルス感染に怯える人々が安心して WITH コロナ社会を暮らせる一助になると共に、POST コロナ社会においても「もの」に対する不信感を払拭できるという考えは今も同じである。</p> <p>抗菌加工印刷はウイルスや菌に敏感な今だからこそ、顧客にアプローチしやすく収益化も期待でき、京都発の新しいビジネスモデルになると確信しているが、今回の課題を一刻も早く解決しなければそれも叶わないと考えている。</p> <p>方向性は間違っていないと考えているので、今後は作業時間と乾燥時間の短縮に挑戦し、より安価に顧客に提供できる加工となるよう模索していく。</p> <p>それが実現したあかつきには、京都を代表する産業である観光や飲食はもちろん京都全産業で抗菌加工印刷の製品を使用して頂き、全産業界が顧客である印刷・同関連業を営む当社から、京都経済への波及効果は大いに期待でき、また、「もの」を感染経路にしないということを当社から業界、さらには京都のものづくり産業全体に波及することで、WITH コロナ社会から POST コロナ社会を見据えた京都経済のさらなる発展へと繋がると思う。</p>